

Panasonic®

取付説明書

VICS内蔵車載用貼付スタンド

品番：**CY-PTC30VD**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書およびカーナビゲーションの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この説明書は大切に保管してください。

適合機種：(2011年6月現在)

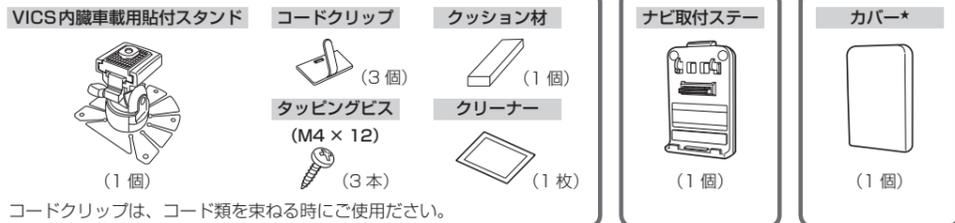
- ポータブルカーナビゲーション

CN-GP600FVD CN-GPA600FVD CN-SP605FVL
 CN-GP700FVD CN-SP707FVL

※詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

内容物の確認

VICS内蔵車載用貼付スタンド一式



コードクリップは、コード類を束ねる時にご使用ください。

パーキングブレーキ接続ケーブル式



★印…カバーは、ナビ取付ステーに取り付けられた状態で梱包されています。

- 本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

作業が困難な場合は、本機または車をお買い上げの販売店や最寄りのカーディーラーにお問い合わせください。(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

仕様

VICS内蔵車載用貼付スタンド	
電源	5V
質量	183g (ナビ取付ステーとカバー装着時)
VICSアンテナ(ケーブルタイプ)	
周波数範囲	76~90MHz
出力インピーダンス	75Ω
貼り付け場所	フロントガラス(車内側)
質量	30g

パナソニック株式会社 オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

お客様相談センター

- フリーダイヤル 0120-50-8729
受付 9:00~18:30/365日
※携帯電話・PHSからもご利用になります。

■上記電話番号がご利用いただけない場合 **0857-30-4578**

※通話料は、お客様のご負担となります。

- F A X* 045-938-1573
受付 9:00~18:30(土・日・祝日・当社休日を除く)
※通信料は、お客様のご負担となります。

© Panasonic Corporation 2011
Printed in Japan

2RR6P12A83900 S0511-0

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。 実行しなければならない内容です。

警告

分解、改造はしない
交通事故やけがの原因になります。
分解禁止

前方の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けない
交通事故やけがの原因になります。
エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてしない
エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると、エアバッグシステムが正常に動作しない可能性があり、死亡事故の原因になります。

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う
エアバッグが誤動作する原因になることがあります。
必ず付属の部品を指定どおり使用する
指定以外の部品を使用すると、本機内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
ぬれたり、中に水が入ったりしないように注意する
本体がダッシュボードから落下し、交通事故やけがの原因になります。
説明書に従って、正しく取り付けをする
火災や故障の原因になります。作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)へご相談ください。
コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因になります。

警告

VICSアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因になります。
必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因になります。

コードクリップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因になります。
● 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
● 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回し車てください。
● ドライバーなどの先で押し込まないでください。
貼り付ける場所の表面が本皮・木製パネル・布張りなどの樹脂製の場合は貼り付けない。
表面仕上げを傷める場合があります。
高温になる場所*に取り付けない
火災や故障の原因になります。
* 印…ヒーターの熱風が直接当たるところなど。
振動や傾きのある不安定な場所には取り付けない
走行中に外れ、交通事故やけがの原因になります。

配線は専門技術者に依頼する
専門技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。
貼付スタンドをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、慎重にはがす
強力な粘着テープを使用しているため、無理にはがすと貼付面を傷める可能性があります。
角度調整は温度が下がってから行う
直射日光が長時間当たっていた場所などは高温になり、やけどをする可能性があります。

取り付け上のお願

- 気温が低い(20度以下)場合は両面テープの接着力が低下します。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 取り付け場所の汚れは付属のクリーナーできれいに拭き取り、乾燥してから貼り付けてください。
- 両面テープは一度はがすと再度接着することはできません。
- 取り付け後は定期的に貼り付け状態を確認してください。
- 各固定ネジはしっかりと締めつけてください。
- 貼付スタンド貼り付け後、すぐにナビゲーションを取り付けしないでください。必ず、未装着状態で24時間以上放置してください。
- 貼付スタンド取り付け後は接着面全体をしっかりと押さえつけてください。
- 付属のクッションはナビゲーションの振動、プレを押えるため、説明書にしたがって必ず使用してください。

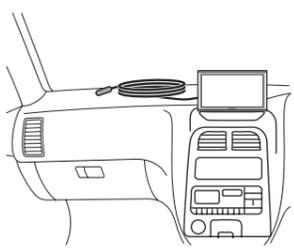
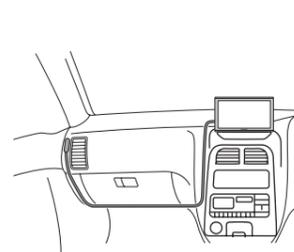
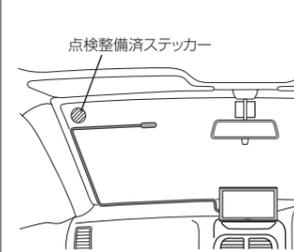
説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※本文中に記載のナビゲーション本体のイラストは取り付けをイメージさせるための一例です。

VICS アンテナの取り付け位置についてのお願い

- VICS アンテナのコーナーは、フロントガラスの左上または右上のコーナーに沿って取り付けてください。
- 下記のような場所へは絶対に配線しないでください。

ダッシュボードの上に置かない ✕	下に配線しない ✕	取付許容範囲外 ✕
受信感が低下します。	受信感が低下します。	車検不適合となります。
		

VICS アンテナを取り付ける前に

VICS アンテナをフロントガラスの左側または右側のどちらかに取り付けるか決めてください。フロントガラスに他の機器の配線(ETCなど)がある場合、干渉によりVICS アンテナの感度が劣化する可能性があるため、他の機器の配線と反対側に取り付けることをおすすめします。

- 車種によって、受信感が極端に低下する場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には、受信感が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。

- 必ずフロントガラスの指定の位置・寸法内に取り付けてください。

- 車検適合させるために、本書の「取付許容範囲について(VICS アンテナ)」および取り付け方法(裏面)をよくお読みの上、正しく取り付けてください。取付許容範囲をはみ出して取り付けした場合、車検不適合と判断され不合格となります。
- 本商品はフロントガラス専用です。それ以外の場所(リヤガラスなど)に取り付けると、受信感が低下します。
- アンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により受信感が低下する場合があります。

取り付け完成概略図について

- VICS アンテナは左右どちら側でも貼り付け可能です。
- 車検適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼り付けてください。
- 地上デジタルテレビ用フィルムアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、地上デジタルテレビ用フィルムアンテナからVICS 外部アンテナを100 mm~150 mm程度(下記〈車内から見た図〉参照)離して取り付けしてください。
※100 mm~150 mm程度離れた位置に、貼り付けしてもVICS が受信しにくい場合は、反対側へ貼り付けてください。
- VICS アンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように取り付けしてください。
- VICS アンテナは、フロントガラスの車内側に取り付けしてください。それ以外の場所には取り付けしないでください。
- フロントガラスに、すでに他のタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
(指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。)

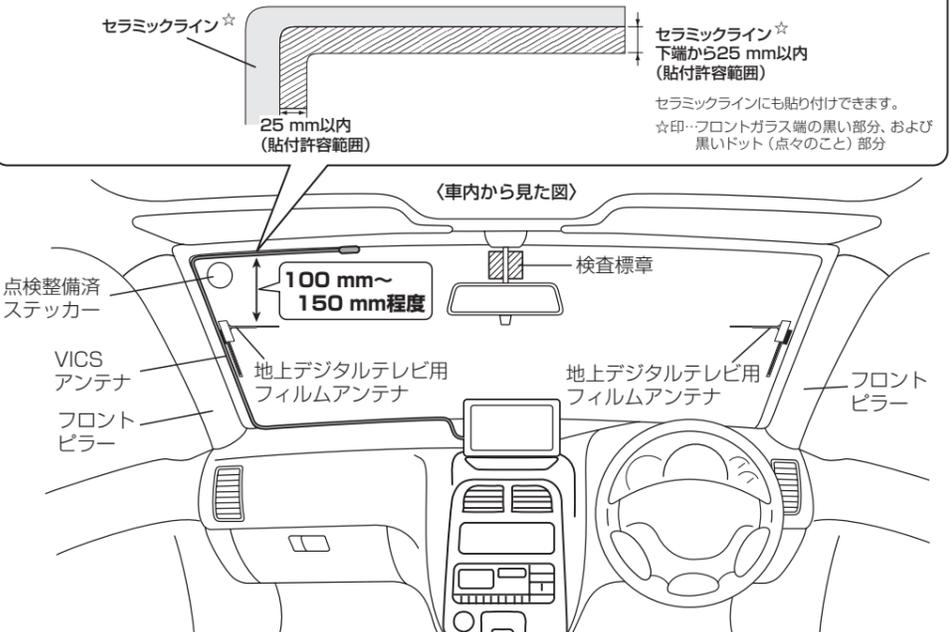
取付許容範囲について(VICS アンテナ)

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、

VICS アンテナは、取り付け許容範囲内(斜線部)に貼り付けてください。

貼付許容範囲より外に貼り付けると、車検に不適合となります。

※道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第195条 および 別添37



VICS アンテナの取り付けかた

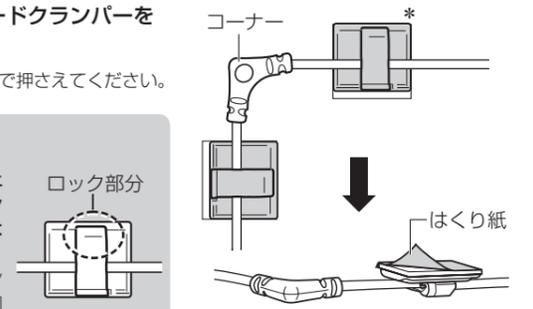
- VICS アンテナをフロントガラスの左側または右側のどちらかに取り付けるか決めてください。フロントガラスに他の機器の配線(ETCなど)がある場合、干渉によりVICS アンテナの感度が劣化する可能性があるため、他の機器の配線と反対側に取り付けることをおすすめします。
- 汚れ、曇り、水滴等がある場合は乾いた布できれいに拭き、乾燥させてから貼り付けてください。

- VICS アンテナのコーナー近くにコードクランパーを2ヶ所取り付け、はくり紙をはがす。

※コードクランパーは「カチッ」と音がするまで押さえてください。

お願い

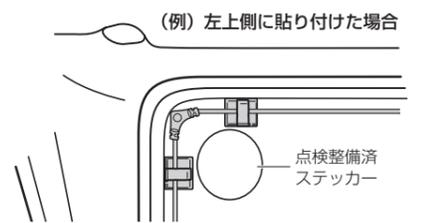
*印…VICS アンテナをフロントガラス上側に貼り付ける際、コードクランパーのロック部分が下向きにならないように取り付けてください。コードクランパーが外れた時に、アンテナが落下し運転に支障をきたす原因となります。



- フロントガラス左上または右上側のコーナーに合わせて貼り付ける。

お願い

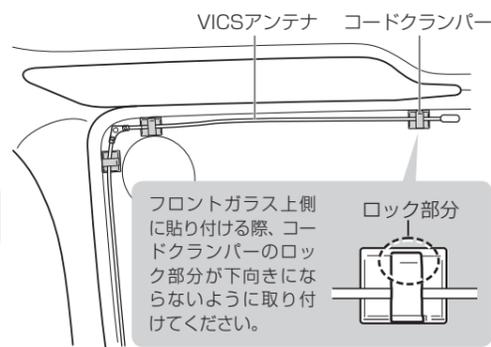
VICS アンテナは必ずフロントガラスに貼り付けてください。



- VICS アンテナの先端近くにコードクランパーを取り付け、はくり紙をはがし、貼り付ける。

お願い

VICS アンテナは、たるまないように貼り付けてください。

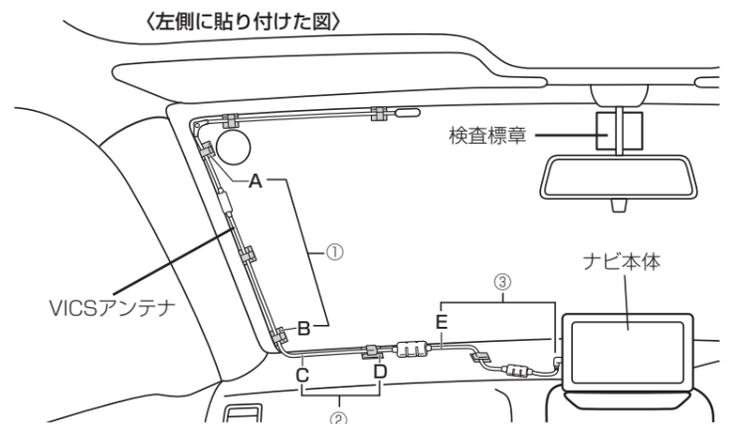


- フロントガラス(左または右側)、ダッシュボード上のVICS アンテナにコードクランパーを取り付け、はくり紙をはがしフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付ける。

- ① AからBまでは必ずフロントガラスにたるみがないように貼り付けてください。
- ② CからDまでは必ずダッシュボード上にたるみがないように貼り付けてください。
- ③ Eからナビ本体までの貼り付けは、お客様が取り付けやすい位置にクランパーを取り付けて貼り付けてください。

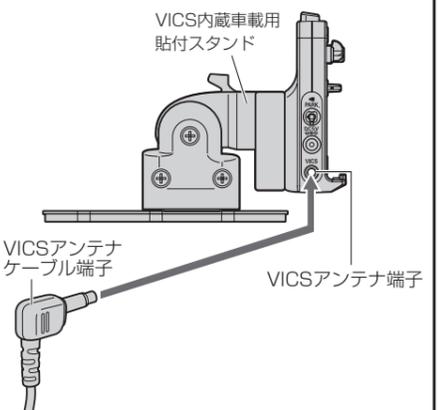
お願い

Eからナビ本体までの配線は、ナビ本体の上に束ねたり、ロッドアンテナに巻きつけたりしないでください。GPSまたはテレビの受信感が低下する恐れがあります。



- VICS アンテナケーブル端子をナビ取付ステー側面のVICS アンテナ端子へ接続する。

※VICS アンテナの接続はVICS 内蔵車載用貼付スタンドを取り付け後、接続してください。

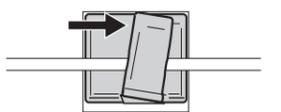


お願い

- アンテナケーブルの端子はショートさせないでください。
- 取り外す場合は、アンテナケーブルを引っばらないでください。
- 接続後ナビ本体の電源を入れたときにメッセージが表示された場合は、再度接続位置をご確認の上、接続してください。

コードクランパーの取り外しかた

コードクランパーを取り外すには、ロック部分を右方向へスライドさせて、ロック解除してください。



ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める安全基準*に適合させるため、運転者の視界を妨げないように「前方視界基準」(下記)に従って取り付けてください。

*道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)、細目告示 第27条 および 別添29

前方視界基準

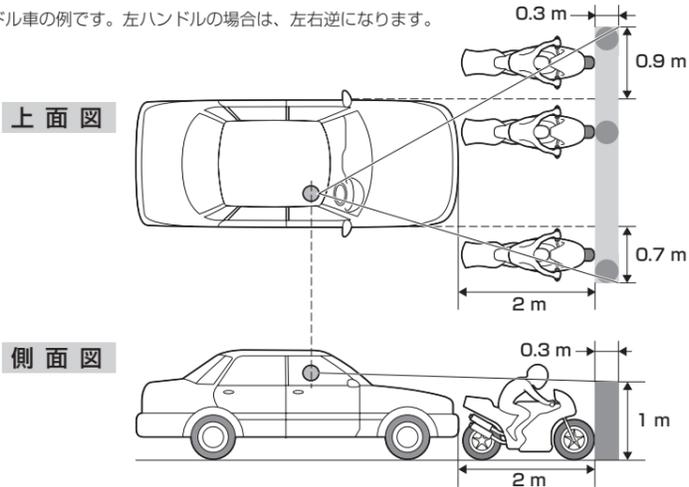
■ 対象車種

専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く。)
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■ 基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接視認できること。

● 図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合は、左右逆になります。

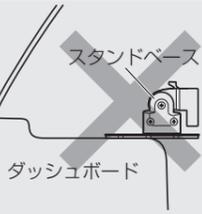


取り付け位置／取り付け寸法について

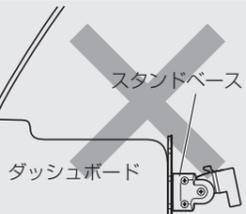
■ 取り付け位置について

- VICS内蔵車載用貼付スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決めてください。
- ナビ本体の取り付けには下記サイズ(■ナビ本体の取り付け寸法について)の取り付けスペースが必要です。
- フロントガラスには取り付けしないでください。
- ダッシュボード上の凹凸により十分な貼り付け強度が得られない場合は、再度平らな場所へ貼り付けてください。
- 取り付け面を付属のクリーナーできれいに拭いてください。
- ダッシュボードが柔らかい材質、布、皮製の場合、貼り付けできません。
- 下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。
VICS内蔵車載用貼付スタンドが外れ落下するおそれがあります。

- スタンドベースの貼り付け面が安定していないところ



- スタンドベースの貼り付け面が垂直または下向きなところ



※定期的に貼り付け状態を確認してください。

■ 取り付ける前に必ずお読みください。

- ナビ本体の取り付けには下記サイズの取り付けスペースが必要です。
- 貼付スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決めてください。
- 別売のGPSアンテナを車内に取り付けると電波を正確に受信できない場合がありますので、できるだけ車外に取り付けてください。
- GPSの電波を受信する／GPS情報の確認／テレビを見る／FMトランスミッターの送信方法につきましては、お手持ちのポータブルナビゲーション取扱説明書をご覧ください。

■ 取り付け角度について

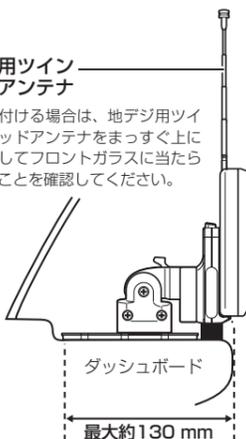
付属の貼付スタンドを使用して、ナビ本体をしっかりと固定してください。
自律航法の誤差を少なくするため前後左右の角度は30度以内で調整してください。



■ ナビ本体の取り付け寸法について

★地デジ用ツインロッドアンテナ

★印：取り付ける場合は、地デジ用ツインロッドアンテナをまっすぐ上にのぼしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。



※フロントガラスに当たる場合は、地デジ用ツインロッドアンテナの角度を調整してください。

VICS内蔵車載用貼付スタンドの取り付けかた

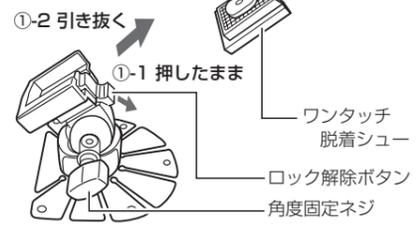
■ナビ本体の裏面にスタンドが付いている機種は、スタンドを閉じてください。

- お知らせ**
- スタンドは、“カチッ”と音がするまで押してください。
 - スタンドについては、お手持ちのポータブルナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

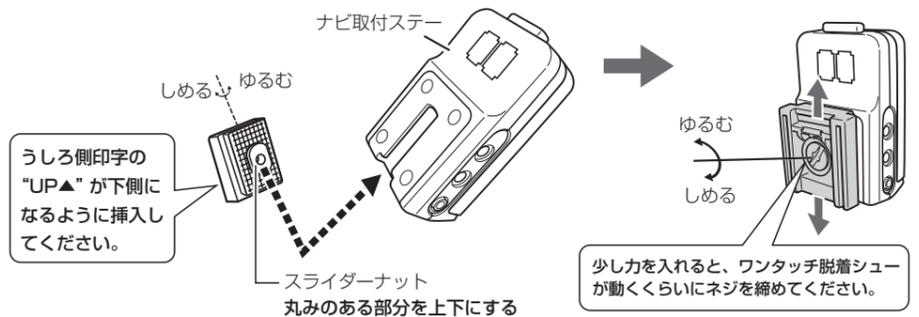
1 スタンドベースにナビ取付ステーを取り付ける。

※はじめに、貼付スタンドの角度固定ネジをゆるめて、下図のように向きをかえてください。

- ① 貼付スタンドからワンタッチ脱着シューを取り外す。

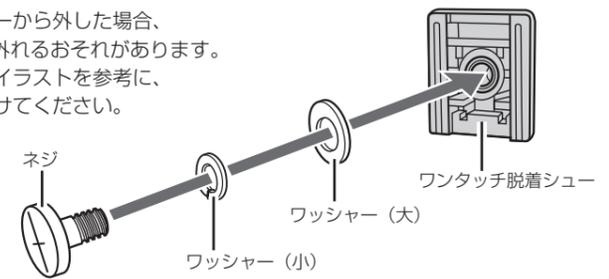


- ② スライダーナットのネジをゆるめて、ワンタッチ脱着シューをナビ取付ステーの中央のみぞに通し、ドライバーまたは工具でネジをしめる。

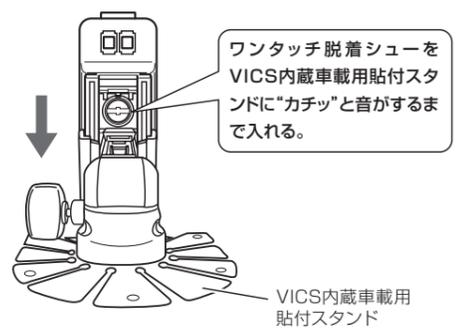


ワッシャーが外れた場合

ネジをワンタッチ脱着シューから外した場合、ワッシャー(2枚)も一緒に外れるおそれがあります。ネジを取り付ける際は下記イラストを参考に、ワッシャーも一緒に取り付けしてください。



- ③ VICS内蔵車載用貼付スタンドに装着する。

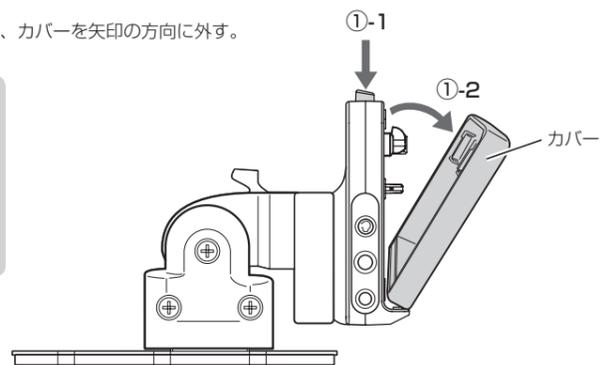


2 カバーを取りはずす。

ナビ取付ステーのボタンを押しながら、カバーを矢印の方向に外す。

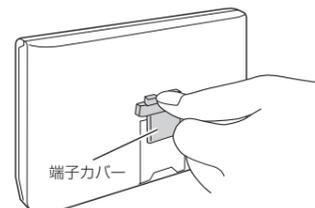
お知らせ

取り外したカバーは、VICS内蔵車載用貼付スタンドを使用しないとき、VICS内蔵車載用プラグを保護するために必要です。なくさないようグローブボックス内などに大切に保管してください。



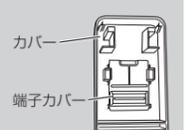
3 ナビ取付ステーにナビ本体を取り付ける。

- ① ナビ本体の端子カバーを外す。

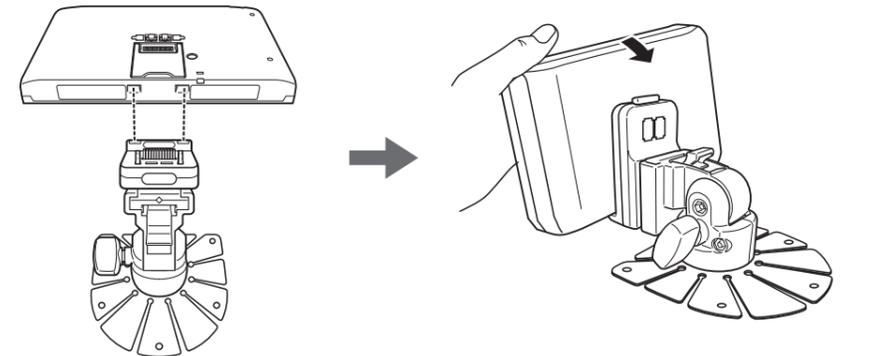


お知らせ

取り外した端子カバーは、手順2で取り外したカバーの内側に貼り付けて保管してください。

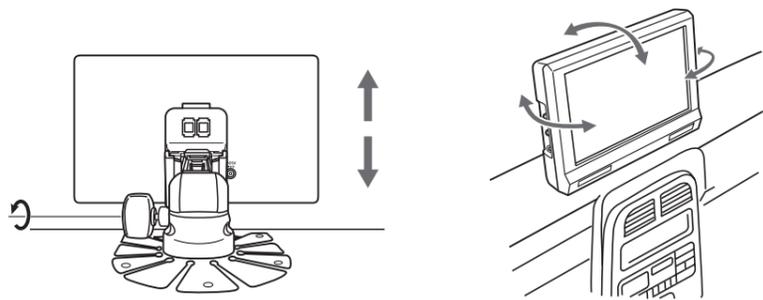


- ② ナビ本体底面の2つのくぼみとナビ取付ステーの2ヶ所の突起を合わせてはめ込み、ナビ本体上部をナビ取付ステー側に“カチッ”と音がするまではめ込む。

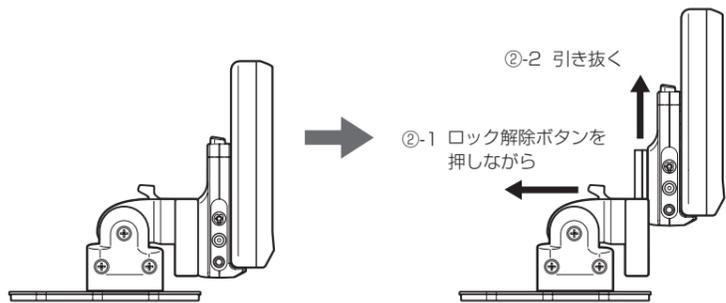


4 取り付け位置を決め、VICS内蔵車載用貼付スタンドをダッシュボードに取り付ける。

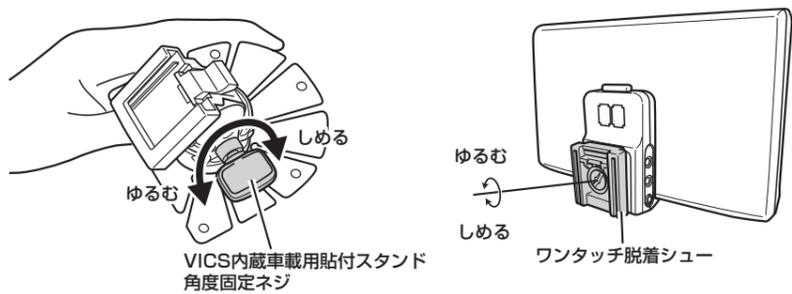
① ダッシュボードの上で、上下、左右、角度を調整する。



② VICS内蔵車載用貼付スタンドからナビ本体をいったん取り外す。



③ VICS内蔵車載用貼付スタンドの角度固定ネジと、ワンタッチ脱着シューのネジをドライバーまたは工具でしっかりとしめる。



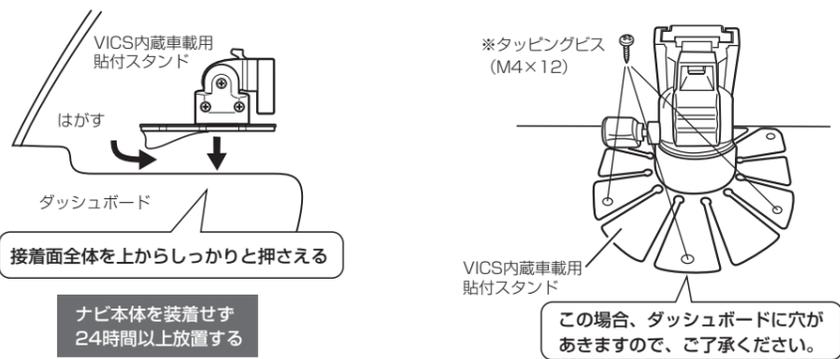
④ VICS内蔵車載用貼付スタンドをダッシュボードに貼り付ける。

■ VICS内蔵車載用貼付スタンドを貼り付ける前に必ずお読みください。

- 必ず付属のクリーナーで貼り付け場所をきれいに拭き、完全に乾燥してから貼り付けてください。車によってはクリーナーでダッシュボードが変色する場合があります。あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。変色した場合は、付属のクリーナーを使用せず、水にひたした布(毛羽立たない素材など)を固くしぼって拭いてください。
- ダッシュボードからはがす場合、強力な粘着テープを使用しているため、ダッシュボードを傷めたり、破れたりすることがあります。

VICS内蔵車載用貼付スタンドはダッシュボードの形状にあわせて粘着面全体が貼り付けられるように曲げてください。

※ダッシュボードの形状/材質によっては粘着テープだけでは強い接着力が得られないので、付属のタッピングビス3本を使用してしっかりと固定してください。

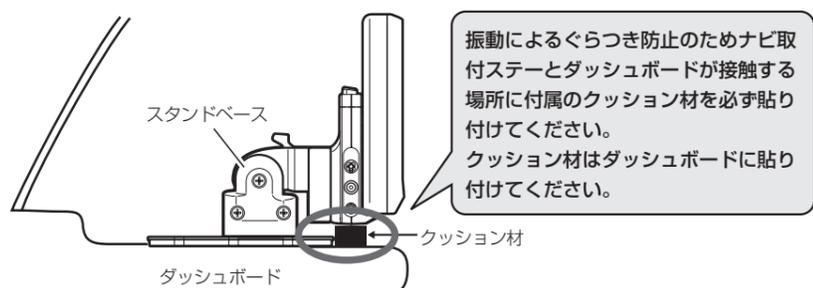


5 ナビ本体を VICS内蔵車載用貼付スタンドに取り付ける。

手順 1-③ を参考に取り付け。

※ VICS内蔵車載用貼付スタンド角度固定ネジはしっかりと締めてください。固定が弱いと、車の振動などでネジがゆるみ、ナビ本体の取り付け角度が変わるおそれがあり危険です。

お願い VICS内蔵車載用貼付スタンド角度固定ネジのゆるみ、VICS内蔵車載用貼付スタンドがはがれそうになっていないかなど、定期的に点検してください。

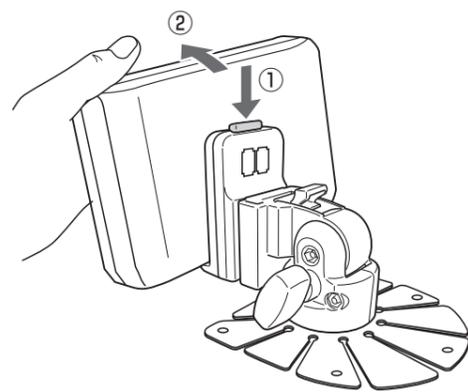


お願い

- 一度貼り付けた VICS内蔵車載用貼付スタンドをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、ていねいにはがしてください。強力な粘着テープを使用しているため、無理にはがすと貼付面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- 有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。

ナビ取付ステーからナビ本体を取り外す

ナビ本体を軽く支え、もう一方の手でナビ取付ステー上側のレバー部を押す。



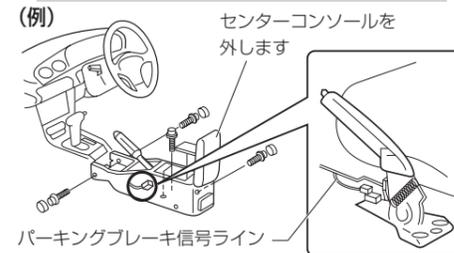
お願い 液晶ディスプレイやボタンなどがあるところを持って、ナビ本体を取り付けたり、取り外したりしないでください。

パーキングブレーキ接続ケーブルを接続する

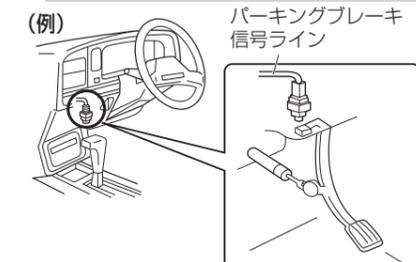
お知らせ 走行中(運転中)の操作は、前方不注意となり危険です。本機では、お客さまの安全を守るため、走行中の操作を制限しています。パーキングブレーキ接続ケーブルを正しく接続していないと、停車中でも走行中と同様に操作が制限されます。

パーキングブレーキ信号ラインの位置を確認する

■ パーキングブレーキがフットブレーキの場合



■ パーキングブレーキがハンドブレーキの場合

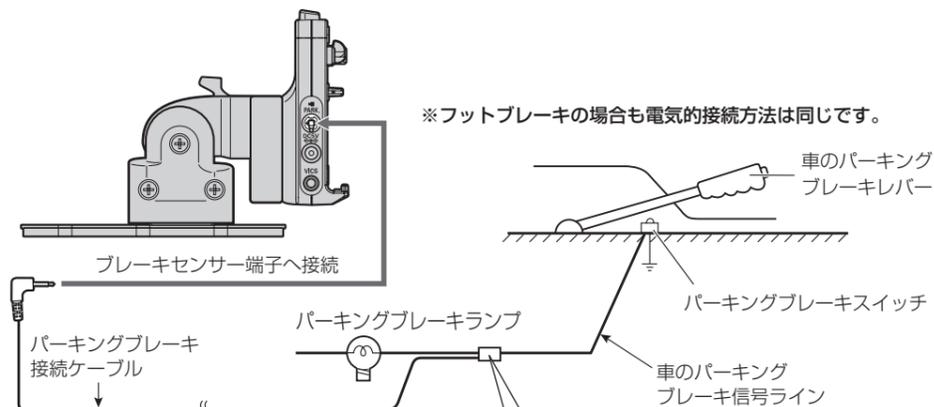


※車種によって異なります。詳しくは、お車をお買い上げの販売店または最寄のカーディーラーにご相談ください。

接続する

※パーキングブレーキ接続ケーブルの接続は、VICS内蔵車載用貼付スタンドを取り付け後、接続してください。
[P] VICS内蔵車載用貼付スタンドの取り付けかた

お願い パーキングブレーキ接続ケーブルを接続するときは、パーキングブレーキをかけて、エンジンを切ってから行ってください。



パーキングブレーキをかけている時に、車体のアースにつながる配線に接続してください。

